

夜の嘆き

いつかは終わってしまう そんなことわかっている  
見つめる先はいつもと同じ風景

君と僕が違っていても  
心は同じように揺れ動く

もし許されるのならば 聞かせたい  
どれほどの想いか Ah..

また今日も朝日は昇って

この悲しみさえも運命なのか  
僕の進む道を月は照らすのか